

マッセ・市民セミナー 「『いのち』の話をしよう」

～ひとりぼっちを作らない、豊かな心の育み方を考える～

趣 旨

少子高齢化の進展や経済格差の進行、社会環境の変化により、個人・世帯が抱える課題は複雑かつ多様となり、「地域共生社会」の実現を目指す動きが進んでいます。

そのような中、昨年の相模原の障がい者施設における殺傷事件や、学校におけるいじめ認知件数の増加、若年層の自死が高止まりになるなど、偏見や差別はなくなり、当事者が抱える悩み・生きづらさは深刻になっています。

あらためて、「いのち」の大切さや価値を見つめ、いかに伝えるかを問い直し、地域ぐるみによる見守り・育み・支え合いが求められています。

本セミナーは、様々な「いのち」に正面から向き合い、傍らで寄り添う実践者からの報告を通して、取り組みの意義やエッセンスを学び、参加者が共感し合い自身の実践に活かすとともに、地域での支え合いの輪をいかに広げていくかについて考えることを目的に開催します。

1. 日 程 平成 29 年 12 月 6 日 (水)
2. 時 間 13 時 30 分～16 時 30 分 (12 時 30 分より受付開始)
3. 会 場 大阪府社会福祉会館 4 階 401 (大阪市中央区谷町 7-4-15)
4. プログラム
 - 13 時 30 分～13 時 50 分
【**基調発題**】「共生社会の実現に向けて～いのちに向き合う～」
講師：新崎 国広 氏 (大阪教育大学 教育学部教育協働学科 教授)
 - 13 時 50 分～14 時 50 分
【**実践者報告**】
〈報告①〉『いのちの授業』を通して感じてほしいこと
H I S A K O 氏 (助産院ばぶばぶ 院長・助産師)
〈報告②〉『子ども夜まわり』から学んだ、子どものチカラ
荘保 共子 氏 (特定非営利活動法人 こどもの里 理事長)
 - 15 時 10 分～16 時 30 分
【**対 談**】 講師と実践報告者によるトークセッションや、参加者からの質疑応答を通して、思いや価値の共有と、地域ぐるみに向けた展開のヒントを学び合います。
5. 主 催 (福) 大阪府社会福祉協議会
(公財) 大阪府市町村振興協会 (おおさか市町村職員研修研究センター)
6. 対 象 定員 200 人 (行政関係者、社協役職員、民生委員・児童委員、施設関係者、NPO 関係者、ボランティア、テーマに関心のある府民など)
7. 参加費 無料

8. 申込期日 平成 29 年 11 月 30 日（木）までに、別紙「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申込みください。

（※先着順で定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます）

9. 講師・報告者のプロフィール

新崎 国広氏（大阪教育大学 教育学部教育協働学科 教授）

- ・大学卒業後 21 年間、肢体不自由児施設でソーシャルワーカーとして従事。その後、専門学校や私立大学での勤務を経て、2003 年 4 月より現大学にて教鞭をとる。研究分野は地域福祉や社会福祉援助技術など。日本福祉教育・ボランティア学習学会 理事。
好きな言葉は「人は必要とされることを必要とする」（エルク・H・エルクソ）



HISAKO 氏（助産院ばぶばぶ 院長・助産師）

- ・阿倍野の助産院で産前産後の女性の心と身体のケアをしながら、講師や執筆活動、セミナーを主催。さらに、小学生や中学生など各発達段階の子どもを対象に、子どもの“リアル”を踏まえた「いのちの授業」に取り組んでいる。座右の銘は「ありのまま」。11 人の子をもつ母親。



荘保 共子 氏（特定非営利活動法人 こどもの里 理事長）

- ・大学卒業後、教会の青年活動を通して釜ヶ崎の子どもたちと出会う。1977 年「子どもの広場」開設、1980 年「こどもの里」と改称。生きづらさを抱えた子どもと親たちに寄り添いながら、子どもの命をど真ん中に、遊び・学び・暮らしの場を創造している。1986 年から 31 年間、野宿者を訪問する「子ども夜まわり」を開催。映画「さとにきたらええやん」の舞台。座右の銘は「子どもは、だんだんと人間になるのではなく、すでに人間である」（ヤヌッシュ・コルチャック）。



<参加申込・問い合わせ先>

〒542-0065 大阪市中央区中寺 1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会・地域福祉部
大阪府ボランティア・市民活動センター
TEL : 06-6762-9631 FAX : 06-6762-9679 (担当 : 青木、江口)
(月・水・金 9 時~17 時 / 火・木 9 時~21 時)